

第4章 基本概念

1. 基本理念

白石市では、平成 17 年に白石市次世代育成支援行動計画を策定し、基本理念『子ども・親・地域 みんなが育ちあうまちづくり』を掲げ、各種子育て支援施策を推進してきました。

後期計画では、子どもが育つ環境づくりで重視すべき基本理念は変わらないとの考えのもと、前期計画の理念を継承することとします。

人口減少や少子高齢化、核家族化の進行等により、白石市の子どもをとりまく環境は様々な問題や課題を抱えています。次の世代の担い手である子どもはかけがえのない宝であり、子どもの健やかな成長のためには、家庭だけではなく、地域ぐるみで愛情を持って見守ることが必要です。

白石市では子育てを通して、子ども・親・地域が一体となって、互いに成長しあえるまちを目指し、本計画に基づき、引き続き実効性のある施策を推進していきます。

・基本理念・

子ども・親・地域
みんなが育ちあうまちづくり

2. 行動計画策定における基本的な視点

- 1 安心して子育てできるまちづくり
- 2 共に支えあう地域づくり
- 3 夢や希望のもてる次代の親づくり

本計画では、前期計画に掲げる内容を踏襲するため、前期計画で設定された上記の3つを引き続き基本的な視点として設定します。

3. 行動計画策定における基本目標

さらに、行動計画の目指すべき方向性として、前期計画で掲げた次の4つを行動計画における基本目標と定め、施策の推進を図ります。

＜基本目標1＞ 地域における子育て支援

ひとり親家庭や共働き家庭、専業主婦（夫）家庭等、それぞれの家庭によって異なった悩みを抱えています。あらゆる悩みに対応し、すべての子育て家庭が健やかに、子どもも保護者も互いに育っていけるよう、地域全体で支えていきます。

また、子育てと仕事の両立支援や仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現化を目指し、保育所サービスや様々な子育て支援サービスの充実を図ります。

さらに、児童館や公民館、子育てサークル、母親クラブといった既存の社会資源を活用し、また、その情報提供に努めます。子育て支援サービス提供者間の連携に努めます。障害児が身近な地域で安心して生活できるよう、また、児童虐待の防止・撲滅のために、より一層の関係機関の連携と一貫した総合的な取組を推進します。

＜基本目標2＞ 乳幼児及びその保護者の健康の確保・増進

子育てをしていくにあたって、子どもはもちろん、保護者も心身ともに健康であることは大変重要です。そのため、妊娠初期から出産、その後の子育てまで、相談や健康診査等の事業の充実を図ります。

また、すべての子どもの健やかな成長に向け、食育推進や疾病予防等の母子保健の充実を図ります。

さらに、講演会やグループワーク等を実施する等、段階に応じて、それぞれに適切な支援・指導を行っていきます。

＜基本目標3＞ 教育環境の整備

学校や幼稚園では、同世代での集団生活を通じて、友達と遊びたいという欲求を満たすと同時に、社会性を身につけます。地域活動においては、様々な世代の人々と交流し、保護者同士の交流の機会ともなります。

家庭では体験できない多様な活動を通じて、自ら学び、考え、判断し、行動できる力等の「生きる力」の育成を図り、豊かな心と健やかな身体の発達を促す教育環境づくりを推進します。

また、地域全体で子どもの成長を支援するために、地域における教育力の向上や家庭における育児不安の解消を図り、家庭教育力の向上を図ります。

＜基本目標4＞ 生活環境の整備・安全の確保

子どもや子ども連れの親が安全に、安心して生活していけるよう、道路交通環境や公園、住宅等の整備やバリアフリー化等に努めます。

幼い頃から交通安全教育を徹底して行い、子どもの交通安全意識の向上を図ります。また、子ども達の身を守るため、関係機関の連携・協力体制の強化を推進し、見回りや声かけ等を行い、子どもたち自身だけではなく、それを見守る地域の大人たちも巻き込んだ、防犯意識の高揚を図ります。